

Pick Up! 進化を続けるTOTOの「ネオレスト」が発売30周年を迎えました

TOTOが製造・販売するトイレの最上位シリーズ「ネオレスト」が、2023年4月1日に発売30周年を迎えました。

商品名に「新しい (Neo) トイレ (Rest-room)」という意味が込められた初代「ネオレスト」は、新たなレストルーム (トイレ空間) を創造する次世代便器として、1993年4月1日に発売されました。以来、TOTOトイレの最上位シリーズとして、テクノロジーとデザインの両面でトイレの「新常識」を次々と生み出し、レストルームの新たな文化を創造し続けています。

今回、ネオレスト30周年を記念して特設サイトを開設しました。1993年に誕生したネオレストEXはじめ、進化の軌跡を「デザイン」、「エコ」、「クリーン」の3つの視点から振り返る「ネオレスト30年の軌跡」や、最新の「ネオレストLS」を新たに追加したペーパークラフトなどを紹介しています。

さらに、TOTOミュージアムでは、企画展「進化を続けるネオレスト展～誕生30年の軌跡～」を開催中。いままでも、これからも創立者の想いとともに進化の歩みを止めることなく、その時代の最先端を目指してチャレンジを続けるTOTOのものづくりへの想いをご覧ください。



人とくらしと
きれいととも

初代ネオレストの誕生から、今年で30年。この間、つねに進化してきたデザインとテクノロジー、洗練されたデザイン、きれいを追求する独自技術、環境配慮を実現する機能。これらの進化は、人とくらしに寄り添い続けてきた証です。きれいと快適さに向き合い続けてきた歴史です。そして今では日本だけでなく、世界中で愛されるようになりました。

ネオレストの進化は、いつも人起点、くらし視点。これまでも、これからも。

30th NEOREST SINCE 1993

30周年のロゴデザインはネオレストがもたらす心ゆよさ・充足感が、直感となって世界へ浸透していく喜びを表現しています。

進化を続けるネオレスト展 ～誕生30年の軌跡～

会期:2023年11月12日(日)まで 入館料:無料
会場:TOTOミュージアム特別展示室内
tel:093-951-2534
開館時間:10:00~17:00 (入館は16:30)
休館日:月曜・夏期休暇・年末年始

ネオレストの30年の軌跡は、30周年記念スペシャルサイトで確認できます。ぜひご覧ください。

NEWS! 九州沖縄事務局からのお知らせ

若手の風を入れていきたい!

私は事務局を担当して7年目ですが、九州の会員さんの「顔と名前」が判別できるのはまだごく一部。九州は賛助会員合わせて、100社弱いらっしゃいます。いつか、みなさんのことが分かるようになりたいなあと言う目標があります。各支部へ足を運ぶことはあるのですが、だんだんと顔ぶれが同じになってしまい、どの支部も参加率低下が悩みのタネ。長年同じメンバーだと、気づかない、

見えないことも増えたりして段々とマンネリ。そしてみんなオジサン、オバサンになっていく。オジサン、オバサンは柔軟な思考と行動力が衰えてくるので、もっと若いメンバーを増やしたいというのがもうひとつの目標。社員がおられる経営者のみなさん、若手社員をぜひとも連れてきてください!

「Z世代」という言葉の意味を知ったのもつい最近なんです、Z世代社員さんの意見や考えを聞かせてほしいです。勉強させてください!

九州沖縄部会 事務局 原文美

『RENOVATION PORTAL (リノベーションポータル)』掲載申請について

RENOVATION PORTAL (リノベーションポータル) とは「安心安全」を意識したリノベーション事業者 (協議会の正会員/住宅リフォーム事業者) のみが、施工物件やイベントを掲載できるエンドユーザー (消費者向け) のサイトです。



RENOVATION PORTAL (リノベーションポータル) URL
https://portal.renovation.or.jp/

本サイトは国土交通省の補助事業のため、掲載に当たっては条件があります。ご利用にあたっては募集要項および、利用規程をご確認ください。

年会費改定について

2023年6月27日に開催された第15回定時社員総会において、年会費の改訂案が承認可決されました。次年度より、従業員数に応じた年会費が適用となります。よろしく申し上げます。

8月から11月のスケジュール

- 8月22日(火) 松山真介のリノベーションスキルアップ塾
協議会の若手スタッフを対象に、松山部会長がプランニングのノウハウを直接伝授します
- 9月 5日(火) 九州沖縄部会WG
- 9月 14日(木) 沖縄支部RBS(リノベーションビジネスセミナー) ブルースタジオの石井氏を迎えた講演会を企画中
- 9月 19日(火) 九州沖縄部会例会兼支部例会(全支部合同)
会場: 麻生建築&デザイン専門学校(福岡市博多区)
企画: 合同就活セミナー! 就活生のホンネを聞いてみよう (調整中)
- 10月 3日(火) 九州沖縄部会WG
- 11月 7日(火) 九州沖縄部会WG
- 11月26日(日) リノベEXPO北九州

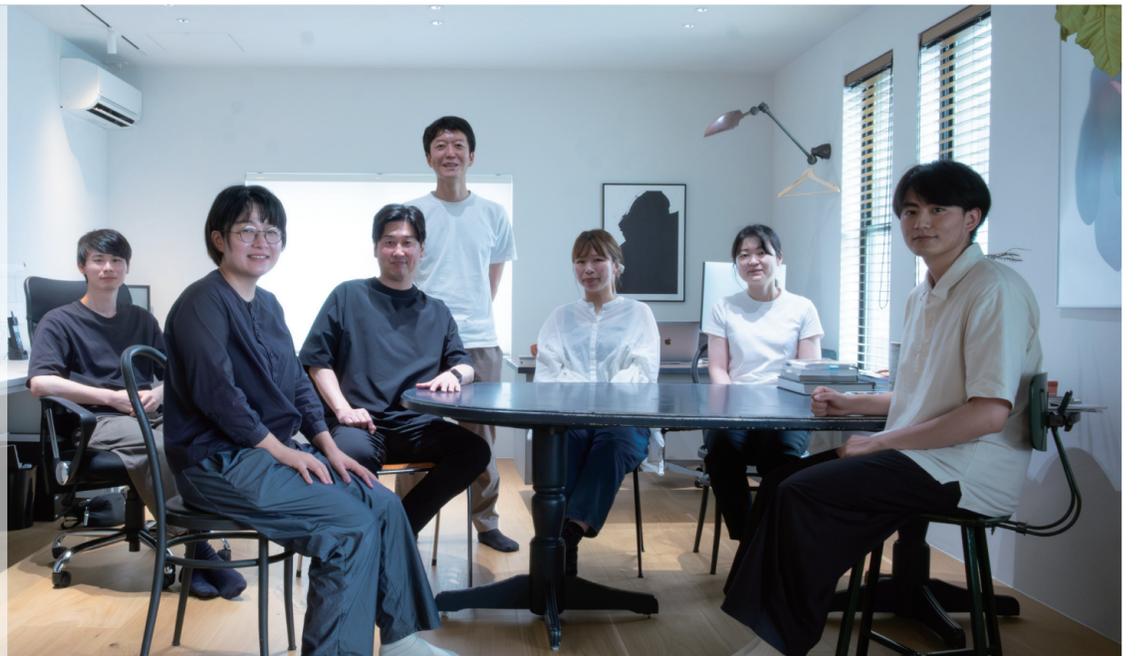
九州沖縄部会WGは、毎月アポロ計画で開催しています。6役を中心に開催していますが、どなたでも参加可能です。加盟社に共有したいことや相談したいことなどがあれば、お気軽に事務局の原までご連絡ください。

Renovation Times 一まるごと九州・沖縄一 Vol.02 2023年8月号

発行 一般社団法人リノベーション協議会 九州沖縄エリア部会 (エリア内正会員67社/賛助会員22社/2023.7.15現在)
発行人 馬越重治(エス・コンセプト) 編集人 山崎大亮(はびりの、原文美(ハラプロ))
制作 吉田千裕(はびりの) メール info@hara23.jp
発行日 2023年8月10日

Renovation Timesでは、リノベーション協議会に参加されている各社の取り組みを積極的にご紹介しています。掲載をご希望の方は、お気軽に上記編集人までご連絡ください。【次回の発行は11月です】

創業75年 3代目社長が挑戦する「最強の会社」の作り方



若い頃は継ぎたくなかった「畳屋」という家業

家業が「畳の卸」でしたので、皆さんから見ると現在の僕にスムーズにつながっているように感じられるかも知れませんが、実は家業を継ぎたくなかったんです。だって畳屋さんって、古臭いイメージじゃないですか。なので、若い頃は建築よりもインテリアに興味を持っていました。もちろん、いまとなっては家業が僕のバックボーンであり、強みだと感じています。

昭和23年に創業した中川正人商店の3代目として、活躍の場を広げる中川社長。市場が縮小する「畳の卸業」から、どのようにしてリノベを軸とする会社へと成長していったのか。業態を変化させ、近隣事業へと進出するアスターの背後には、夢を追い続ける少年の姿があった――

有限会社中川正人商店 (アスター) 代表取締役 中川正太郎 (46)



高校卒業後、インテリアショップ勤務や建築現場の仕事を経て、同社入社。2015年に社長就任。「街のよろず屋」をコンセプトにした雑貨店「KUHONJI GENERAL STORE (9GS)」、い草を活用した製品通販の「From Rush」、インテリアセレクトショップ「concept store A.」なども運営。熊本市内を流れる白川流域の魅力を高める地域プロジェクト「Shirakawa Banks」の役員も務める。タムタムデザインと取り組んだ「球磨川くだり発船場」で、2021年のROYを受賞。



国産のい草のみを使ったfrom Rushの商品。暮らしのどんなシーンにもマッチするよう、心地良さとデザインにこだわっている。



上_40年ほど前に撮られた現在のアスター事務所の外観。初代社長の葬儀時に撮られたもの。下_母、祖母と共に資材置場で遊ぶ中川社長

ですね笑

社長を引き継いで8年、会社の売上高は1.5倍に

2002年くらいから実家で働いて、2015年に社長を引き継ぎました。僕が入社した頃の売り上げ比率は畳の卸が7~8割、内装工事が2~3割だったんです。内装工事といっても、最初の頃は畳の張り替えなどを不動産会社から請け負うような工事を中心に、年に数回、店舗など商業施設の内装工事を引き受けるくらいでした。

それでも、工事部門は僕が入社する前からあった

TOPIC!

各エリアの取り組みとお知らせ

北九州支部

オーダーキッチンのある暮らし

私たちが受注する住宅リノベーションでは、なんと9割以上の割合でオーダーキッチンが採用されています。なんといっても、オーダーキッチンの魅力はデザイン性ですが、それと同様に「ミリ単位」で設計できる自由度の高さも挙げられます。

サイズだけでなく、シンクやコンロなどの位置も自由に変更できるため、既存の配管やダクトとの接続問題もクリアしやすく、既製品では成しえない空間と使い勝手が実現します。ほとんどの住宅で「暮らしの中心」となるLDKにおいて、効率的な家事動線が確保されるだけでなく、住まい全体の使い勝手が向上するプランニングが大変喜ばれています。

また、キッチンを制作する家具工房でもリノベーションの相談を受け付けているので、双方の顧客情報を共有することで、実は営業強化にもつながっています。オーダーキッチンのある暮らしを、皆さんも提案されてみてはいかがでしょうか？



武末宗之
(CRAFT WORKS.)

長崎からの便り

「100万ドルの夜景」が受け継がれる家造り

長崎は「夜景の美しい街」として知られています。私が幼い頃の夜景は本当に素晴らしくて、巷間に「100万ドルの夜景」と言われる絶景が広がっていました。

この夜景が形成されたのは、長崎の地形が大きく影響しています。平地が極端に少ない長崎の街は山手（かなり上方）まで住宅があり、それぞれの家庭で灯された明かりが長崎の夜景を形成していました。時が進み、山手にある住宅を子世代が相続したものの、現代的な暮らしの中では課題が多く、残念ながら山手の家から明かりが徐々に消えているのが現実です。

当社は「親から子へ受け継がれる家」をコンセプトに、リノベーションを行っています。不動産会社がベースなので相続のご相談も多く、長いお付き合いが特徴です。お客さまにとって、リノベーションは人生に一度の大事業です。だからこそ、これからも「一生のお付き合い」を意識して、お客さま一人ひとりと向き合っていきます。



溝江琢也
(長崎溝江商會)

筑後支部

地域に溶け込む「戸建住宅+カフェ」リノベ!?

久留米エリアだけでしょうか？戸建住宅の1階を「カフェ&リビングヘリノベーションしたい」と言うご相談が増えてきました。ここ2カ月でも数件の問い合わせがあり、それぞれ現在プランニング中です。

皆さんがそろって言われるのは、カフェで「利益を追求していない」ということ。あくまで暮らしと仕事（趣味?）の両立を目指されているようです。だからこそ業務用の厨房機器ではなく、一般的なシステムキッチンでOKと言われる方がほとんどです。日中はカフェとして営業し、夕方以降はリビングになる暮らしをイメージされているようです。

あるお客さまの夢は「コーヒーと創作ケーキを提供するスペースが、近所のコミュニティになれればいい」とのこと。まさに、趣味とコミュニケーションの両立ですね。

こういった新しいスタイルの戸建住宅が増えて、コミュニティが活性化されると、久留米ももっと楽しい街に変わっていくでしょうね！



渡邊剛
(久留米建設)

福岡からの便り

福岡の中古マンション市場に変化の兆し

福岡市及び近郊エリアでは2021年をピークに取引件数前年同月比の前年割れが続いていたが、直近2ヶ月は反転しており変化の兆しが見られました。そんな中、高価格帯は落ち込みが少なかった事もあり、現在大濠アドレスにて1億5000万超えのリノベーション物件の販売にも取り組んでいます。

当社は累計販売戸数25,000戸超の実績で培ったプランニング力や施工力、最長20年のアフターサービス保証でより差別化を進めるとともに、リノベーション市場全体を拡大するために、今後も供給増を目指すつもりです。

また、断熱と空気にこだわった省エネルギーリノベーション「エコキューブ」の再販物件も増加中。当社のホテル&レジデンス「モンタン博多」に「エコキューブ」の部屋を用意し、ご検討中のお客様に「エコキューブのある暮らし」をご体感宿泊していただける取組みでご好評いただいています。



志塚剛
(インテリックス・福岡店)

んです。ブランド名は親父がつけたんですが、最初は「インテリアルーム・アスター」でした。親父に由来を聞くんですが、恥ずかしがってはっきりと教えてくれないんです。諸説あって、一つは雑草の名前で「商売人は雑草魂であるべき」という説、もう一つは電話帳の最初に載せるために「Aから始まる社名にした」という説です。

リノベに挑戦しつつも、
翔けなかったもどかしさ

2008年くらい、世の中でリノベーションという言葉が広がり出した時代から、熊本で「リノベしたい!」と活動していたのですが、なかなか受注出来ませんでした。なので、2010年に僕が自分の家として中古マンションを購入し、リノベーションしたことが実質的なスタートですね。なにも経験がない中で、本当に手探りでオープンハウスも実施しました。当時はまだリノベが珍しいということもあり、100人以上のお客さまにお越しいただいたのですが、オープンハウス中に「お腹すいたね」、「じゃあピザでも取りましょうか」みたいな状況になっていました笑

リノベーションで実現するカッコ良い暮らしや、サステナブルな社会性に魅力を感じたことも事実ですが、実は挑戦しなかったことはそれだけではないんです。建設業界と言う縦社会の中で、下請としての限界を感じていたので、自分で考えたことを形にできる仕事をしたいと思っていました。もちろん親父ともたくさん衝突しましたが、決意を持って家業からの転換を目指しました。僕は資格もないし、大規模な工事も未経験だったので、いまとなっては恥ずかしいトラブルも経験しましたが、時間をかけてチャレンジし続けたことで、親父や周囲の理解を得られたと思います。

とは言え、僕自身は「畳の需要が減るから業態転換しなければ」と論理で考えたわけではありません。内装とかインテリアとか「カッコいい空間」を作ることが好きだったので、それに関わる仕事をしたい想いが強かったんだと思います。親父からは「畳屋の息子のくせに、和室を無くしてなんぼし



左手ビル1Fがconcept store Aのstore、2Fがgallery、3Fがshow roomとなっている。右手ビルの1FがKUHONJI GENERAL STORE (9GS)

よっとか」と叱られていましたけどね。

家族とスタッフと共に
「最強の会社」を目指す

実は、現在畳の卸業はしてないんです。店舗などの内装工事が主体で、もっと住宅リノベーションを増やしたいと考えています。リノベーションの隣接事業として、インテリアや雑貨などを販売する「KUHONJI GENERAL STORE」を8年前から運営していますが、正直大きく利益は出ていません。それなのに、その店舗が入った隣のビルがコロナ禍で空室になると聞いて、何をするか決めずに一棟借り

しました。もちろん、家族は反対でしたけど。

確かに、経営的にはチャレンジです。それでも、僕はやりたかったんです。当社は建築屋ではなく、インテリアのプロでもありたいと思っているので、それを表現出来る、お客さまに感じてもらえる場が欲しかったんです。だから、店名は「concept store A.」にしました。

目標はアスターというブランドで、熊本でNo.1のリノベーション会社になることです。僕だけじゃなくスタッフ全員が、仕事でも家庭でも「幸せだ」と感じられる会社になりたいんです。スタッフが「うちの会社はカッコいいよね」と誇れる、最強の会社になりたいと思っています。

先達に学ぶ

〈インタビュー〉

九州沖縄部会 広報
山崎大亮(株式会社はびりの)



今年4月に入社した新入社員が、社長のことを「正太郎さん」と呼ぶ会社です。インタビューの中でも、会社のブランド化とスタッフの幸せを真摯に考える「人間力」を強く感じました。創業社長の苦労もあれば、3代目だからこそその重責もあります。変化していく時代の中で、しなやかに変化と成長を続けられるのは、おだやかに見える中川社長の中に「ぶれない芯」があるからではないでしょうか。

一方、協議会活動については「もっと加盟社が増えると思っていた」とのこと。ご自身がリノベと出会った時の高揚感や高鳴り、ワクワクする想いをもっと広げていけるよう、その結果として加盟社数が増えるよう、新たなアプローチが必要という意見に私も賛成です。半導体特需で活況を呈する熊本です。協議会活動においても、熊本からの新しい風を期待しています！

Column

thirteen
まだまだ、13歳! 九州沖縄部会

2010年7月15日、リノベーション協議会九州沖縄部会は、福岡市を中心とした数少ないメンバーで産声をあげました。2009年7月2日のリノベーション住宅推進協議会（現：リノベーション協議会）の発足から一年後のことです。イベントに不慣れなメンバーとほぼ手作りでご企画した赤煉瓦文化館2階ホールでの発足式。全国の理事メンバーや事務局の方々、メディアの方々も数多く来場いただき、歴史的建築物の床が抜けるのでは…と、心配になるほどの盛況ぶりでした。

2023年現在、九州・沖縄の各エリアに仲間が拡大しております。歳月

人を待たず、リノベーションビジネスの進化は止まることなく、社会的役割も重要度を増しています。とはいえ、まだまだ13年目。これからのリノベーションの進化を、メンバーの皆様と共に創造していきたいと願っているところです。

「中村あゆみ」はこう歌っています。

Thirteen ふたりは出会い Fourteen 幼い心かたむけて
あいつにあずけた Fifteen Sixteen 初めてのKiss
Seventeen 初めての朝 少しずつため息おぼえた Eighteen
(翼の折れたエンジェル：1985年)

まだまだリノベーションの青春時代は続きます！



九州沖縄部会長
松山真介